

安方中学校改築事業基本構想及び基本計画のご質問・ご要望まとめ

★新しい校舎の仕様についてのご質問・ご要望

質問・ご要望 ※重複する質問は省略させていただいております。	区の考え方
生徒人数分に対応できる光回線および「Wi-Fi 6 (11ax)」対応のWi-Fi 設備設置を要望する。	生徒人数分のタブレット学習に対応したWi-Fi 環境の設置を予定しています。 (令和5年7月5日追記) 令和4年9月に機器更改しており、光回線及びWi-Fi 6 (11ax) 対応機器が導入されています。改築後も同等の機器設備を設置します。
タブレット・ノートPC・スマホ充電による必要電力量の増加に対応可能な電力キャパシティの確保を要望する。	電力については、教育環境に必要な量を確保します。
男性用トイレにおける個室(大便器)個数の十分な確保およびシャワートイレの設置を要望する。	便器の個数は生徒推計を考慮し、適正な数の設置を検討します。シャワートイレについては、一部のトイレ(教職員用・来客用など)に設置します。また、バリアフリーの観点から、オストメイト対応のだけでもトイレを設置します。 (令和5年7月5日追記) 便器の個数は、空気調和・衛生工学会の『衛生器具の適正個数算定法』に基づいて算出した個数とします。
面積の狭い安方中学校敷地内に「地域スペース」を設けないといけないのか。 現在、既存の図書館や児童施設等の建物が老朽化してきており、建て替える際に「地域スペース」を併用して建てた方が活用範囲も広がると思われる。(旧蓮沼小学校跡地等を積極的に活用する。)	地域諸室は、避難所利用を想定した防災備蓄倉庫や、PTA室などの設置、また、多目的な利用を想定した地域集会室の整備を計画しており、地域と学校をつなぐ重要な諸室です。
メディアセンターなるものを作るのであれば、地域の間人も休日は利用できるありがたい。ちょっとした音楽の発表会などに利用できるの良い。	メディアセンターは生徒が図書館とパソコン教室機能として利用する場として計画しており、原則として地域の皆様に利用していただく想定ではありません。 学校と地域の皆様が交流する場として、地域集会室の設置を計画しています。
体育館・武道場を近隣校との試合会場に開放し、交流さかんなスポーツ環境に改善することを望む。 その際他校の子ども達含めお弁当を広げられるピロティ広場があると良い。	体育館・武道場については、試合会場として開放することも想定しています。 また、校舎棟と体育館棟の間に安方モール(ピロティ)の設置を計画しています。
毎日重い荷物を持たないように、個人ロッカーがあると良い。	各教室には、個人別の通学カバンが入る程度の棚を設置します。
子どもと先生を守るため、全ての教室等にカメラがあると良い。	防犯カメラについては、プライバシー配慮の観点から、全ての教室に設置することは行いません。しかし、防犯上の観点より外部から侵入などに対応するため、門などに防犯カメラを設置します。
新校舎完成時には今の子供達はみな卒業してしまっているが、体育館にエアコン設置をお願いする。	体育館には冷暖房設備を設置します。
屋上にプールということは、屋上緑化は難しいとして、壁面緑化は実施する予定ならその前提で壁面に突起物を設置するなどの方が良い。 壁面の一部をボルダリング可能とすると体育の授業や地域との交流イベントなどでも活用可能かもしれない。	壁面については、メンテナンス方法も含め学校関係者と今後協議を行った上で、設計の中で検討していきます。なお、緑化については「大田区みどりの条例」に基づき適切に緑化を行っていきます。 (令和5年7月5日追記) 校舎棟及び体育館棟の西側に壁面緑化を設けます。 また、ボルダリング設備については整備いたしません。

★新しい校庭についてのご質問・ご要望

質問・ご要望 ※重複する質問は省略させていただいております。	区の考え方
グラウンドは「土・砂」or「アーバンソフトコート」or「人工芝（スポーツターフ）」or「天然芝」のどれか。	グラウンドは部活動の利用等を考慮し、原則として「土・砂」を採用しています。 (令和5年7月5日追記) 安方中学校については、土によるグラウンドを採用しました。
運動場が広くなり、位置も変わるため、強風が南風、北東風の時の砂ぼこりを心配している。防砂林とか、環境も考えて校庭の砂が飛ばない配慮をお願いしたい。	校庭の砂の飛散については、比重が重く飛散しにくい「土・砂」を用い、スプリンクラーによる砂埃対策に努めます。 (令和5年7月5日追記) 飛散防止対策として、スプリンクラーによる散水の実施や防砂ネットの設置を行います。
人工芝の検討はいかがか。 生徒が転倒による頭部を含む怪我防止（膝や腰や足首の負担軽減にもなります）だけではなく、近隣住民への騒音の低下や砂塵の発生を防ぐ事が出来るのと、水捌けも良くまた万が一の災害時には高齢者にとって身体に優しい対応となる。	人工芝については、維持管理コストや表面温度が高くなる、足に負担がかかる等の懸念があることから、現在のところ採用していません。 (令和5年7月5日追記) 人工芝を採用したグラウンド整備は行いません。
既存のグラウンドよりも大きな面積のグラウンドを確保することだが、サッカーグラウンドが確保できるのか。整形で確保することとは、長方形のフルグラウンドコートは確保できないのでは。 施設整備のコンセプトには、グラウンドの確保、部活動をサポートする空間づくり、体育施設の充実とあるところ、整形=正形になったら野球部しかできないのでは、学区の地域はサッカーも盛んである。サッカー部のない中学校にならないよう、お願いしたい。	建物の配置やグラウンド形状、他の部活利用等による総合的な検討の結果、現状と同様にサッカーのフルグラウンド（約100～120m四方を想定）としての広さの確保は困難です。しかし、既存グラウンドでの部活動利用と変わらない環境を確保していきます。 なお、学校としては今後もサッカー部を継続したいと考えており、グラウンドの広さ、形によってサッカー部がなくなることはありません。
『「新校舎の特徴」・グラウンド面積は既存よりも大きく確保』と記載されているが、建物を高層階にしてグラウンド面積を確保する必要性が感じられない。	本校の場合、文部科学省のグラウンド面積基準を満たしていないため、既存以上の大きさを確保することとしました。

★新しい校舎での周辺環境についてのご質問・ご要望

質問・ご要望 ※重複する質問は省略させていただいております。	区の考え方
学校内の植木に落葉樹を植えないで欲しい。落ち葉が自宅に舞い込んできて、掃除する手間が増えて迷惑している。なお、自宅に植木は一本もない。	緑化計画については、今後の設計において検討していくこととなりますが、いただいたご意見を踏まえ学校関係者と協議した上で樹種の選定を行っていく予定です。 (令和5年7月5日追記) 景観アドバイザーと協議し、常緑樹と落葉樹をバランス良く計画しております。なお、適切な剪定、清掃及び管理を行ってまいります。
既存の植木等を出来るだけ残す事を念頭において欲しい。 教育現場の方向性からすれば、邪魔だから伐採する様な考えでは、学生達にももの等に対する愛でる気持ちの育成に繋がらない。 北側は「枝垂れ桜」及び「花壇」があることで、通行人が足を止めて一休みする空間が存在している。	樹木については、今後樹木医診断を行い、学校と調整の上、残したい樹木はできる限り残すように努めます。また、緑化につきましては、「大田区みどりの条例」に基づき、緑化計画を検討していきます。 (令和5年7月5日追記) 樹木診断を行った樹木について、原則移植可能と診断された樹木を残す計画とし、既存樹木の保全に努めます。 なお、緑化については「大田区みどりの条例」に基づき、緑化面積を計画しました。

<p>少子高齢化が叫ばれるなか、何故に、現状の高さ以上の建造物が必要なのか。建物を低く抑える事で、近隣住民が納得できる建造物を建ててほしい。</p> <p>日照権問題の対策として、校舎等の建物の建て位置（案は西側）を根本から変更して、南側に校舎等を建てる事で校庭に日影が出来て、住民に対して配慮することが出来る。</p>	<p>良好な教育環境確保のため、現在及び将来の生徒数から想定される校舎規模やの確保等、総合的に検討した結果、現状よりも高い配置計画となりました。</p> <p>南側の校舎配置案は、校庭に日陰ができ、グラウンドの運動利用に支障があることや、整形した校庭配置が困難であることから、不採用としました。</p>
<p>北側建物と道路との間隔を今迄以上にあけてほしい。（日照権での斜め屋根部分から建物を削る。）その北側のあいたスペースに駐輪場を設置できないか。</p>	<p>今後計画を進めるに当たり参考とさせていただきます。</p> <p>（令和5年7月5日追記）</p> <p>本計画は下記の理由など総合的に判断し、現在の配置に決定いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定工事期間が他案と比較して短い ・仮設校舎が不要 ・グラウンドがほぼ整形で確保可能 ・まとまった校舎形状により学習環境の向上が期待できる ・既存校舎の問題点である『校舎が東西に長いため、生徒の動線が長い。校舎棟と体育館棟が離れており死角がある。』を改善し、『校舎をまとまった形状とすることで、生徒の動線を短くでき、コミュニケーションもとりやすくなる。また、死角も少なくなる。』ことが実現できる計画である <p>また、文部科学省のグラウンド面積基準を整備した上で、教室等諸室を配置した計画となっているため、建物を削ることはできません。</p> <p>なお、駐輪場は体育館棟西側に20台分計画しております。</p>
<p>長方形の建て方でなくても「L字型」等にして、建て方を工夫したらどうか。</p>	<p>L字型配置を検討するにあたり、生徒の動線が長くなる点や工期が長期化する点から、良好な教育環境の確保が困難であると判断したため、西側配置の計画としました。</p>
<p>北側の既存校舎より改築後の建物が北側に移行しているのは何故か。今まで以上に圧迫感が生じる。</p>	<p>校舎の規模や配置計画を鑑みこのような形状となりました。建物高さにおける圧迫感の低減を図る等、今後の設計において配慮します。</p> <p>（令和5年7月5日追記）</p> <p>圧迫感の低減については、バルコニーを設置し奥行のある立面としていくとともに、軒の高さを抑えている計画としています。また、1階武道場の床レベルを下げ、体育館棟の高さの低減を図っていること、屋根形状については、折り曲げること及び歩行者通路を整備することで設計上の配慮を行っております。</p>
<p>地域と共有するゾーン（体育館及び武道場）も、視線・音（防音対策）の抑制をするところがあるが、なぜ、南及び南西面にだけ「視線・音の抑制」が必要なのか。校舎に隣接する面（西北及び北面）も平等に対応願いたい。</p>	<p>西北及び北面についても視線や音を抑制するように設計の中で検討します。</p> <p>（令和5年7月5日追記）</p> <p>『安方中学校に係わる改築工事 基本構想・基本計画について』では、新たに校舎ができる南及び南西面に対する配慮を記載しました。西北及び北面についても同様にバルコニーを設置し奥行のある立面としていくこと、生徒が活動する体育館棟の北側・西側の開口部の面積を小さくしていること、西側に壁面緑化を設けること及び体育館棟のサッシを二重サッシにすることにより、視線や音を抑制するように設計しました。</p>
<p>現在まで、17時以降は静寂な住宅環境であったのが、体育館及び武道場を設置することで騒音問題が発生する。窓を開放せず、防音壁等を設置願いたい。</p>	<p>いただいたご意見を参考に設計・運営を検討します。</p> <p>（令和5年7月5日追記）</p> <p>体育館及び武道場は空調機器が整備されるため、基本的に窓を開放しての運営はしません。また、体育館棟の北側・西側の開口部の面積は小さくし、サッシを二重サッシにすること、武道</p>

	場・屋内運動場は倉庫を挟んで北側外壁と面する計画とすること及び壁に吸音性の高い材料を用いる計画とすること及び近隣への音に配慮した設計としました。
夕方から夜 21 時位にかけて体育館等の施設を使用する人が北側道路を駐車することを禁止し、常に監視して貰いたい。	路上駐車については、学校から注意を呼び掛けていきます。
学校から西側に位置する住民であるが、ベランダが東向きのため、改築後の配置に不満と不安がある。現在も午前中しか日照時間がない。改築後配置で 5 階建てだと、更に日照の不安がある。日影計算を出してほしい。	「建築基準法」の日影規制を満たすとともに、「大田区中高層建築物の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例」に基づき、日照等について事前にご説明させていただきます。
部活動による球の飛来防護ネット設置について。 現在も年数回ほど校舎を越えて飛んでくる。車に当たった（ボンネットへこんだ） ネットを現在の校舎より高く設置してほしい。	防球ネットを設置します。支柱の高さについては、既設の高さ、競技の種類及び近隣住民の方々との関係を考慮した上で、決定していきます。 (令和 5 年 7 月 5 日追記) 防球ネットの高さについては、既存が 8 m に対し新設は 15m で計画いたします。
「地域と共有するゾーン」は道路から出来る限り離れた状況で、尚且つ、駐輪場の設置を強く要望する。	いただいたご意見を参考に設計の中で検討します。 (令和 5 年 7 月 5 日追記)
建物による圧迫感の軽減と日照の確保のため、新校舎を少しでも東側に建設し、西側を広く空けて欲しい。	本計画は下記の理由など総合的に判断し、現在の配置に決定しました。 ・想定工事期間が他案と比較して短い ・仮設校舎が不要 ・グラウンドがほぼ整形で確保可能 ・まとまった校舎形状により学習環境の向上が期待できる ・既存校舎の問題点である『校舎が東西に長いため、生徒の動線が長い。校舎棟と体育館棟が離れており死角がある。』を改善し、『校舎をまとまった形状とすることで、生徒の動線を短くでき、コミュニケーションもとりやすくなる。また、死角も少なくなる。』ことが実現できる計画である 敷地西側については、バルコニーを設置し奥行のある立面としていること及び建物の敷地境界線からの後退等により、圧迫感の軽減に配慮しております。

★防災についてのご質問・ご要望

質問・ご要望 ※重複する質問は省略させていただいております。	区の考え方
多摩川が決壊した場合に、避難場所として利用出来るか。	多摩川が氾濫した場合の安方中学校の浸水想定は 1.6m ですので、2 階以上であれば水害時緊急避難場所として使用可能です。
避難所としての設備を充実させてほしい。 昨年 10 月の台風時、多数の方々指定学校の避難所へ行くも満員で入らなかった。 多摩川の氾濫も想定して、避難所機能としてのスペースを広くしたり、ご老人は車で迎え、優先的に避難所へ誘導するなど、自治体と学校が連携しあう町づくりを考慮していただきたい。	令和 2 年度より水害時緊急避難場所の指定を区立小中学校等 89 か所に拡大しました。また、区内の都立高校や区立施設等を早期に開設する調整を進めています。 併せて、要配慮者の皆様が優先的に避難できるよう、一般区民の皆様には垂直避難や浸水想定のない親戚・友人宅などへの避難等、分散避難のご検討を区ホームページ、区報等でお願ひしています。
子供たちのために色々な設備を設置する事には賛成です。 ただ、災害が多くなってきている近況を考えると、多摩川の氾濫も想定した、避難場所・災害備品備蓄等、近隣住民の災害時のハブ施設になるような設計が必要です。多摩川氾濫の場合は、矢口小学校は避難先にならないとか馬鹿な事を言っているの、安方中学校しか避難先がありません。1 万人以上がくらしているの、全員の避難場所になるのは無理でも、年寄りや子供だけでも安心して過ごせる場所を作っておいて欲しいと思います。	

グラウンド側に「下水直結式仮設トイレ」を設置出来るような下水道の配管をしていただいた方が有事の際に役立つと思う。	マンホールトイレを原則として1基設置します。 また、他にも学校備蓄倉庫に要配慮者向けの「自動ラップ式トイレ」や組み立て式の「仮設トイレ」を備蓄しています。 (令和5年7月5日追記) マンホールトイレは2基設置する設計としました。
災害時に災害時用井戸や給排水設備を設置してほしい。	災害時用の井戸の設置は計画していませんが、災害時は受水槽に貯留されている水を使用します。
避難所となる体育館(2階)への高齢者、障害者、妊婦、乳幼児連れ等の方たちのアクセスを考慮してほしい。	体育館はどなたでもアクセスしやすいような動線を今後の設計の中で検討していきます。 (令和5年7月5日追記) エレベーターを利用することにより、道路から体育館まで階段を利用することなく移動できる動線計画といたします。
環境負荷を低減するため、また、災害時の停電に備えるために、太陽光発電および壁面緑化をご検討してほしい。壁面緑化は、夏は壁面温度を下げ、冬は壁面温度を上げる効果があると同時に、日中は温暖効果ガスを吸収する。	いただいたご意見を参考に設計の中で検討します。 (令和5年7月5日追記) 校舎棟屋上に太陽光発電パネルを設置し、校舎棟及び体育館棟の西側を壁面緑化し、環境負荷の低減に努めています。

★工事期間中の環境・安全についてのご質問・ご要望

質問・ご要望	区の考え方
※重複する質問は省略させていただいております。	
工事中に出たゴミ（工事業者のお弁当殻、飲み物の缶、タバコの吸殻なども含む）は全てきちんと廃棄して欲しい。	工事中のごみの持ち帰りや路上喫煙の禁止については、徹底して指導していきます。
工事用車両、人員の侵入、工事中の騒音は極力抑えてほしい。	工事車両・人員の出入り、工事中の騒音については、適切に対処していきます。
アスベスト飛散の防止対策とそれにより抑制できる具体的な数値（％）の確認。現校舎には相当のアスベストが使用されていると想定している。 これについて、以下具体的な数値をもって説明してほしい。 (1) 現校舎でアスベストが使用されている場所、および現校舎全体で使用されているアスベストの総量 (2) 上記(1)のアスベストが使用されている場所を解体する際の飛散防止対策（近隣含む） (3) 上記(2)の対策による飛散抑制効果の値（数値）および対策の実績（他の工事で確認された実績値）	アスベストの有無については、今後の設計において調査を行います。その結果に基づき、飛散防止対策等を検討していきます。その際、大気汚染防止法や東京都環境確保条例に基づき事前届出を行った上で適切な処理を行っていきます。 (令和5年7月5日追記) 設計で確認できる限りの調査の結果、既存校舎及び既存体育館の内装材等にアスベストが含有していることが分かりました。 工事の際も含有の恐れのある部分について確実に調査します。 除去については、大気汚染防止法や東京都環境確保条例に基づき事前届出を行った上で適切な処理を行っていきます。 なお、詳細は解体工事の工事説明会で説明を行います。
工事および建設車両出入りによる騒音・振動・粉塵に対する防止対策とそれにより抑制できる具体的な数値（％）の確認。 建設/解体工事期間中、近隣に対し相当の騒音・振動・粉塵被害が発生すると想定しているが、以下それぞれについて以下具体的な内容および数値をもって説明してほしい。 (1) 建設・解体時に発生する騒音値、それに対する対策、その対策による抑制効果 (2) 建設・解体時に発生する振動値、それに対する対策、その対策による抑制効果 (3) 建設・解体時に発生する粉塵の飛散範囲、それに対する対策、その対策による抑制効果	騒音・振動については、騒音規制法、振動規制法及び東京都環境確保条例に定められた数値を厳守していきます。重機については、低騒音型・低振動型のものを使用し、操作にも配慮して工事を行います。また、粉じんについては、防音シートや防音パネル、養生シート等を設置し飛散防止に努めるとともに、解体中においては常時散水を行います。
大型トラック等建築用車両の走行に関する安全性の確認。 建設・解体時には多数の大型トラック等建築用車両が極めて頻繁に近隣生活道路を走行し、通勤・通学・買い物等一般生活上での歩行の安全が脅かされると想定する。これについて、以下説明を	工事車両における台数等については、設計が固まり次第、施工業者が決定した上で、施工計画の中で検討していきます。詳細が決まりましたら、工事説明会においてご説明させていただきます。 (令和5年7月5日追記)

<p>お願いする。</p> <p>(1) 建設・解体時に現場に出入りする大型トラック等建築用車両の、1日あたり平均台数および出入りピーク時の台数</p> <p>(2) 建設・解体時に現場に出入りする大型トラック等建築用車両が近隣を走行する時の走行ルート</p> <p>(3) 建設・解体時に現場に出入りする大型トラック等建築用車両が近隣を走行する曜日および時間帯</p>	<p>I期工事については、受注者と以下のとおり協議しており指導して参ります。</p> <p>(1) 基礎工事：1日平均 50～60 台 ピーク時：95 台（コンクリート打設時）</p> <p>(2) 国道1号線から荏原高校前一方通行を直進し安方中学校南側ゲートに搬入。南側ゲートを退出し一丁目の交差点を右折し搬出する予定です。</p> <p>(3) 作業時間及び3 t以上の車両の搬出入時間は原則として月曜日から土曜日の午前8時より午後6時30分までとします。上記時間の他、前後1時間は作業の点検・準備・後片付け・清掃の為、通勤車両等により作業員が現場に出入りします。また、内装仕上げ等、騒音・振動を発生する恐れのない工事及び自然災害等に伴う点検作業等については、上記時間外に作業を行うことがあります。</p> <p>なお、詳細は工事ステップごとに工事説明会で説明を行います。</p>
<p>工事を実施する曜日・時間の確認。</p> <p>以下について、実施する曜日・時間を説明してほしい。</p> <p>(1) 建設・解体の実作業を行う曜日および時間帯</p> <p>(2) 工事関係のトラックや工事要員が現場に出入りする曜日および時間帯</p>	<p>月曜日～土曜日の8:00～18:00を作業時間として想定していますが、今後の設計において検討を行い、工事説明会においてご説明させていただきます。</p> <p>（令和5年7月5日追記）</p> <p>I期工事については、受注者と以下のとおり協議しており指導して参ります。</p> <p>(1)(2) 作業時間及び3 t以上の車両の搬出入時間は原則として月曜日から土曜日の午前8時より午後6時30分までとします。上記時間の他、前後1時間は作業の点検・準備・後片付け・清掃の為、通勤車両等により作業員が現場に出入りします。また、内装仕上げ等、騒音・振動を発生する恐れのない工事及び自然災害等に伴う点検作業等については、上記時間外に作業を行うことがあります。</p> <p>なお、詳細は工事ステップごとに工事説明会で説明を行います。</p>
<p>以下極めて発生の可能性が高い近隣での被害について、区および学校はどのように補償するのかの確認。以下について具体的に説明してほしい。</p> <p>(1) 工事の騒音・振動・粉塵・アスベストによる住民の健康被害が発生した場合</p> <p>(2) 長期間の工事から受けるストレス・不眠等により病状悪化、精神疾患発生/悪化の場合</p> <p>(3) 粉塵等により洗濯物が外に干せない、騒音により住居内での会話・テレビその他音声が通常の音量で行えない・聞こえないなどの生活制約が発生した場合</p> <p>(4) 工事の振動・粉塵等による建物の汚れ等の被害が発生した場合</p>	<p>騒音・振動については、騒音規制法、振動規制法及び東京都環境確保条例に定められた数値を厳守していきます。重機については、低騒音型・低振動型のものを使用し、操作にも配慮して工事を行います。また、粉じんについては、防音シートや防音パネル、養生シート等を設置し飛散防止に努めるとともに、解体中においては常時散水を行います。なお、今後の設計においてアスベストの含有が確認された場合には、必要に応じて労働基準監督署、環境対策課と協議を行い、適正に除去工事を実施します。</p>
<p>工事は解体も含めて防音・防塵・防振に配慮し、工事時間の厳守と日祭日の工事は行わない事</p>	<p>いただいたご意見を考慮した上で、施工計画を検討します。</p>
<p>近隣の路上に工事関係車両の駐停車は厳禁し、全て学校敷地内に駐めること（コンクリートミキサー車の搬入待ちや、瓦礫を運ぶ大型ダンプ、資材を運ぶトラック等は別途待機場所を作りエンジンを切り待機し、搬入後のミキサー車の車洗浄も学校敷地内にて行うこと）</p>	<p>（令和5年7月5日追記）</p> <p>I期工事については、受注者と以下のとおり協議しており指導して参ります。</p> <p>作業時間及び3 t以上の車両の搬出入時間は原則として月曜日から土曜日の午前8時より午後6時30分までとします。</p>
<p>作業員の飲食喫煙は敷地内の事務所や休憩所のみで行うこと</p>	<p>上記時間の他、前後1時間は作業の点検・準備・後片付け・清掃の為、通勤車両等により作業員が現場に出入りします。また、内装仕上げ等、騒音・振動を発生する恐れのない工事及び自然災害等に伴う点検作業等については、上記時間外に作業を行うことがあります。</p>
<p>警備員は24時間警備を行い放火やイタズラの防止に努めること</p>	
<p>大型台風等の自然災害が見込まれるときは、強風・大雨・地震などに万全の備えを怠らないこと</p>	

	<p>作業員通勤車両はコインパーキング若しくは工事現場内に駐車するようにします。コンクリート打設時は工事現場内を待機場所として使用します。ミキサー車の洗浄についても近隣に対し配慮いたします。</p> <p>飲食及び飲酒は仮設事務所で行うよう指導していきます。</p> <p>ゲート付近(2箇所)に防犯カメラを設置し、夜間休日は施錠管理を徹底します。</p> <p>自然災害の備えとして、予報等を注視し適切に安全対策をしていきます。</p> <p>なお、詳細は工事ステップごとに工事説明会で説明を行います。</p>
<p>計画通り進めて、工事期間を短めにし、なるべく早く完成してあげて欲しい。</p> <p>工事期間が長くなると、生徒の授業も身にはいらないし、工事車両などで地域の負担も大きくなる。</p>	<p>適切な工期を遵守するように努めていきます。</p>
<p>安方中学校の東側は、近隣住民の買い物の際に使用する道路なので、トラック類車両の出入りに十分注意してほしい。</p>	<p>工事車両については、安方中学校付近での待機は行わないよう指導します。また、車両動線はあらかじめ定めたルートを走行し、交通誘導員を適切に配置します。</p>
<p>工事中の工事車両の道路駐車 待機時間を短く 安全確保 エンジンかけっぱなしはやめてほしい。</p>	<p>いただいたご意見を工事関係者に対して周知徹底していきます。</p>
<p>本お知らせにより、安方中学校の改築工事の考え方、施設コンセプトについて知ることが出来た。</p> <p>勤務先、矢口3丁目でも大規模マンションの建築工事の作業員たちによる、自販機への大量クズ、¥100駐車場の利用マナーの悪さ、商店へ土の付いた土足で入る、などのマナーの悪さが目立つ。また、本現場は周辺は住宅街であり、狭い道幅なので、交通事故等にだけは十分に注して頂きたい。</p> <p>本工事、作業員にはこれらの問題について、周知徹底して頂きたい。</p>	

★住民説明会についてのご質問・ご要望

質問・ご要望	区の考え方
<p>※重複する質問は省略させていただいております。</p> <p>定期的に改築工事の進捗状況を説明のための住民説明会を落ち着いたら開催してほしい。</p>	<p>適切な周知方法を検討していきます。</p> <p>(令和5年7月5日追記)</p> <p>基本設計の内容について改築だよりを発行し、ホームページに掲載しています。また、令和4年7月に大田区中高層建築物の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例に基づく説明(戸別)を行い、令和5年6月に同範囲の皆様を対象に説明会を実施いたしました。工事の内容については、工事のステップごとに工事説明会を開催する予定です。</p>
<p>旧校舎解体ならびに新校舎建設中の在校生、教員の方達へのソーシャルディスタンス確保、工事にもなう怪我等、想定外をつくらず徹底検証をお願いするとともに、説明会(説明書)等保護者に配布してほしい。</p>	<p>保護者の方へのご説明については、資料を配布する等適切な周知方法を検討していきます。</p> <p>(令和5年7月5日追記)</p> <p>工事のステップごとに工事説明会を開催し、保護者の方にもご案内を配布いたします。</p>

<p>コロナ禍の今、大人数での説明会開催を避けることは理解できるが、一方で近隣住民に対し説明会を一度も行わないこと自体は全く納得がいかない。少人数で複数回開催する、また Web 会議等で開催するなど一般企業で行っていることすら行わないことに非常に不信を感じる。</p> <p>ついでには以下 2 方法のいずれかでの直接の説明会の開催を要求する。</p> <p>(1)少人数での複数回開催 (2)Web 会議等リモート会議形式での開催</p>	<p>従前の学校改築基本構想・基本計画については、学校体育館にお集まりいただいた説明会を開催していましたが、今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見合わせました。</p> <p>今後の説明手法については、いただいたご意見を参考とさせていただきます。</p>
<p>当質問・要望に対するご回答への再質問方法・時期の確認。</p> <p>今回提起する質問・要望に対しては 1 件 1 件丁寧にご回答いただけるものと認識しているが、そのご回答に対しては、通常いくつかは再質問・再要望する事項がでてくるものであることは当然認識なさっていることと思う。その再質問・再要望は、いつ、どのような方法で行う予定であるのかを説明してほしい。</p> <p>なお再質問・再要望機会がないということは全く受入れられない。</p>	<p>当該基本構想及び基本計画の改築説明のご質問・ご要望に関しては、この回答をもって掲載させていただきます。</p> <p>今後、ご意見やご質問等がありましたら、随時承らせていただきます。</p>

★その他のご質問・ご要望

<p>質問・ご要望</p> <p>※重複する質問は省略させていただいております。</p>	<p>区の考え方</p>
<p>資料もとても綺麗にまとまっており、内容も納得のいくものだが、web サイトで見られれば十分ではないでしょうか？これだけ上質な紙資料を近隣住民に配った費用を考えるとヒヤッとします。</p>	<p>学区内にお住まいの皆様に分かりやすくお伝えするため、カラーでの説明資料として発色の良いコート紙を選択しました。</p> <p>今後は、いただいたご意見を参考とさせていただきます。</p>
<p>今後 40 年間の、この学区の人口（生徒数）の変化を、どのようになると考えているか。</p>	<p>大田区人口ビジョン（将来人口推計・分析等報告書）によると 2060 年までの年少人口（0～14 歳）に大幅な変化はありません。また、大田区人口推計（平成 27 年国勢調査「人口等基本集計」等に基づく再計算（地域別人口・産業関連人口推計））によると、学区域に係る蒲田地域の年少人口についても、2030 年までの人口変化はありません。</p>
<p>現在の学年毎の生徒数と学級数を教えてほしい。</p>	<p>令和 2 年度 5 月 1 日現在で、1 年生 146 名 4 クラス・2 年生 128 名 4 クラス・3 年生 108 名 3 クラス（計 11 クラス）です。</p> <p>（令和 5 年 7 月 5 日追記） 令和 5 年度 5 月 1 日現在で、1 年生 143 名 5 クラス・2 年生 102 名 3 クラス・3 年生 126 名 4 クラス（計 12 クラス）です。</p>
<p>普通教室は各学年、いくつ造る計画か。</p>	<p>普通教室は 1 学年あたり 5 教室（計 15 教室）を造る予定です。</p>
<p>今、「30 人学級」をすすめる動きが、文科省でも、自民党内でもおきている。</p> <p>個を大切にすため、1 クラスを分けて少人数で授業をおこなったり、日本語学習等のための小教室が必要になってくると思うが、そのことを考慮した教室数になっているのか。</p>	<p>現状の計画は、少人数学級に対応した計画ではありません。今後の国における少人数学級の制度化の検討について、注視していきます。</p>
<p>「複合化」とはどのようなものなのか。</p> <p>なんら具体的な説明なく「複合化は行わないという結論に至った」旨の記載では理解できない。</p>	<p>公共施設の整備にあたっては、「大田区公共施設等総合管理計画」に基づき施設整備を進めています。この中では複合化をすることで、効果的・効率的な施設マネジメントによる区民サービスの維持向上と公共施設の総量抑制の両立を図ることを区の方針として定めています。</p> <p>学校で複合化を検討する上では、グラウンドや教室を含めた生徒の活動場所等、良好な教育環境・安全性の担保を前提条件としており、安方中学校については複合化する余地がほとんどないと判断しました。</p>
<p>大田区内で「複合化」を実施している他の学校名およびその内容を教えてほしい。</p>	<p>既に、久原小学校 [久が原特別出張所]・志茂田中学校 [志茂田福祉センター] が複合化を実施しています。なお、現在改築工事中の入新井第一小学校と赤松小学校についても公共施設を複合化する予定です。</p>

	<p>(令和5年7月5日追記)</p> <p>馬込第三小学校、東調布第三小学校及び東調布中学校についても公共施設を複合化する予定です。</p>
当計画の検討時の経緯・内容をチェックしたく、計画協議会・ワークショップ等「意見交換」の場の出席者及び議事録の公開してほしい。	<p>安方中学校の改築計画協議会は、地元町会の役員やPTAの代表など16名の委員の方にご協力をいただき計8回開催しました。</p> <p>議題としては、配置計画や教室配置パターンの検討などを行いました。</p>
40年で校舎はだめになるのか。40年後には再度改築が必要なのではないか。	<p>区では、15年を周期に修繕を行い、維持保全及び改修を継続して行うことで、建物を良い状態に保ち70～80年間まで使用できることを長寿命化の基本的な考え方としています。(大田区公共施設等総合管理計画より)</p> <p>安方中学校は、昭和36年竣工から増築及び改修を繰り返し現在に至ります。学校施設の状態や生徒数の推移、地域バランスなどを総合的に勘案・検討した結果、今回全面改築とする方針を決定しました。</p>
動線を改善とあるが、中学生の体力向上には動いた方が良くはないか。	<p>コンパクトな配置とすることにより、学年ごとのまとまりが構成しやすく、学習環境の向上に寄与するスペースの確保がしやすいため、まとまった校舎配置としました。</p>
過去、焼却炉での煙害、今迄、男子トイレからの奇声(学校へ連絡したが対応なし)で嫌な思いをしてきた。また、学校行事の際、道路に駐輪して駐車場の邪魔になっていたが、我慢してきた。(道路上に駐輪場を設けるのは、おかしい。)	<p>奇声や駐輪に関しては、ご迷惑をおかけしております。学校から注意・指導を徹底していきます。</p>
長期に渡っての工事なのでスケジュール通り進行しているかの可視化が出来るようにしてもらいたい。	<p>工事の進捗状況については、周辺住民の方にもご確認いただけるよう、工事現場の仮囲いに張り出すこととしています。</p>
生徒の緊急時等の動線を考えてほしい。 例) ・体育館へはどの階からもスムーズな移動 ・昇降口は、大きいとはいえ1か所だと、生徒の流れが交差したり、混雑する ・相談をするために来校する生徒の他人と会わないルートを検討	<p>いただいたご意見を参考とさせていただきます。 今後の設計の中で検討していきます。</p> <p>(令和5年7月5日追記)</p> <p>緊急時の動線については、建築基準法に定められている避難規定に加えて、各教室の外周にはバルコニーを設けており避難経路を複数確保できる計画としています。</p>
各階の学年スペースは「展示場」くらいとお考えであるとみえるが、学年集会ができる広さが必要ではないだろうか。	
校舎棟は大きな1つの建物になるので、自然換気は無理だから、全館冷暖房になると思う。冷気が1階にたまって、ものすごく寒くなったりする。非常時に電気がないと、風が抜けず、本当に暑くなります。そのあたりの配慮をお願いします。	<p>学年スペースは、情報共有の場、学級を超えた交流の場など普通教室の学習活動を支援する場所として設計しました。学年集会は、多目的室、体育館、安方モールなどで行います。</p>
防犯等、安全について。 1階で異変があった時、職員室からすぐに駆け付けられるような配慮をお願いします。(外階段で2階に玄関をもってくることもあり。)	<p>本計画は全館冷暖房ではなく、各教室を個別に空調する計画です。外壁に面する教室は窓を開けることで自然換気が可能であり、外壁に面していない教室はトップライトに設けた自然換気窓により自然換気ができるよう配慮しました。</p>
教科によって教員数の少ない所は、特別教室の位置を近づける、準備室をはさんでつなげるなど、十分な配慮をお願いします。	<p>敷地外から敷地内に入る扉には、電気錠等を設置しセキュリティを確保しています。また、2階職員室の扉から2階のバルコニーに出て屋外階段から1階に移動できる計画としています。</p> <p>いただいたご意見を参考に教室の配置について学校と協議の上、以下のとおり設計しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科準備室を挟んで、第1理科室と第2理科室をつなげました。 ・家庭科準備室を挟んで、家庭科(被服)室と家庭科(調理)室をつなげました。 ・技術準備室を挟んで、技術(金工)室と技術(木工)室をつなげました。

<p>今後の生徒人数予測に対する建物規模・設備内容の妥当性の確認。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の3階建ての校舎から5階建て ・今後生徒が減少するであろう中、普通教室スペースが広く、かつ学年別に階が固定 ・さらに普通教育スペース以上に広く取られた特別教育スペースの存在等があり、現在および将来の生徒数には必要以上のスペースが多い、相当に豪華絢爛な建物になると認識している。 <p>また、配布された資料には工事費用等の記載が一切ない。 これらの点について、近隣住民および一般納税者の立場から如何に妥当な計画であるかのチェックをしたく、客観的な資料（各数値/金額）を公開してほしい。</p>	<p>校舎の規模は、将来の生徒数を推計して相応なスペースを想定しています。</p> <p>工事費については、今後の設計において詳細な設計を行った上で精査していきます。</p> <p>（令和5年7月5日追記） 各工事の契約額は入札後、区のホームページに公開されます。 なお、I期工事の契約額は令和5年6月16日より区のホームページで公開しております。</p>																		
<p>建物の規模・設備内容に対する工期の妥当性の確認。</p> <p>この規模の建物の建築に「建設・解体で計4年以上の工期」が予定されており、近隣住民の犠牲・迷惑があまりに長期にわたる。</p> <p>例えば、マンション等の工期は「階数+3～5か月」と言われ20階建タワーマンションでも一般的には2年弱程度で完成することから、あまりに長い工期と言わざるを得ない。</p> <p>これらの点について、近隣住民および一般納税者の立場から如何に妥当な計画であるかのチェックをしたく、客観的な資料（具体的な工事内容/工事業者名）を公開してほしい。</p>	<p>計画の条件の一部として、同一敷地内で学校を運営しながらの計画であること、工事中においても学校内で給食を調理し、提供すること、工事中においても体育館が利用できること等があります。そういった条件の中での工事工程となるため一定の期間が必要となります。</p> <p>具体的な工事内容については、今後の設計において検討していきます。</p> <p>（令和5年7月5日追記） 具体的な工事内容については、工事ステップごとに工事説明会で説明を行い、資料は区のホームページで公開します。 工事業者については、その後の入札、議会での議決を得た上で承認されたのち、区のホームページにおいて公開されます。</p>																		
<p>単純に時間がかかりすぎではないか。 こどもが入学、卒業しても完了するかどうか。 計画期間が3年もあるのが理解できない。</p>	<p>本校の改築は、敷地内で学校生活を送りながらの工事となりますので、工事に一定の期間が必要となります。なお、資料のステップ1～4のとおり、現在空地となっている西側に新校舎を建て、旧校舎から引っ越し、その後に旧校舎を解体します。すなわち、体育館を除いては、ステップ1終了後は新校舎を利用できる計画となっています。</p>																		
<p>既存建物の高さ（体育館の高さを含む）を知りたい。 数値の入った平面図、立面図、配置図、パースを見たい。 現状と建設予定の建物の北側及び西側の外壁までの距離を知りたい。 断面イメージ等だけで詳しい寸法等が明記されていない。</p>	<p>今回いただいたご意見を参考にさせていただいた上で、今後の設計において計画していきます。</p> <p>（令和5年7月5日追記） 建物の高さ（体育館の高さを含む）と外壁までの距離は下表のとおりです。</p>																		
<p>太陽光パネル等の設置が記載されていない（災害時を含む自前で電源確保）。</p>	<p>・高さ</p> <table border="1" data-bbox="1073 1911 1663 2050"> <thead> <tr> <th></th> <th>既存校舎</th> <th>新校舎</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校舎棟</td> <td>14.37m</td> <td>23.2m</td> </tr> <tr> <td>体育館棟</td> <td>17.2m</td> <td>14.4m</td> </tr> </tbody> </table> <p>※建築基準法に基づく数値です。 ※校舎棟は屋上床面の高さではなく、一部塔屋の最高部の高さです。</p> <p>・外壁までの距離</p> <table border="1" data-bbox="1073 2273 1749 2412"> <thead> <tr> <th></th> <th>既存校舎</th> <th>新校舎</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北側</td> <td>6.9m</td> <td>5.23m</td> </tr> <tr> <td>西側</td> <td>4.5m</td> <td>5.655m</td> </tr> </tbody> </table> <p>※既存校舎は、既存図面を基にCADにより計測した数値です。 ※新校舎は、通り芯に躯体及び仕上げ等の厚さを考慮した計算値です。</p> <p>なお、本計画の概略は区のホームページで『安方中学校 改築だより』に公開されています。詳細な寸法等は個別にお問い合わせ下さい。</p> <p>太陽光発電パネルは新校舎棟屋上に設置する計画としています。</p>		既存校舎	新校舎	校舎棟	14.37m	23.2m	体育館棟	17.2m	14.4m		既存校舎	新校舎	北側	6.9m	5.23m	西側	4.5m	5.655m
	既存校舎	新校舎																	
校舎棟	14.37m	23.2m																	
体育館棟	17.2m	14.4m																	
	既存校舎	新校舎																	
北側	6.9m	5.23m																	
西側	4.5m	5.655m																	

<p>ゴミ集積場所が記載されていない。</p>	<p>ゴミ集積場所については、サービスヤードや車両の動線計画も踏まえ設計において検討・計画していきます。</p> <p>(令和5年7月5日追記)</p> <p>ゴミ集積場所は西側中央搬入車両出入口付近1階に計画しています。</p>
<p>学校の側に住んでいる人間で、学校が煩いと文句を言う人はいると聞きますが、学校の方が先になるんだから、最初から解って引っ越してきた訳なので、そういう苦情があっても、子どもの教育を優先した対応を取ってほしいと思います。</p>	<p>学校は良好な教育環境を確保することを前提として、地域の拠点施設でもあります。そのような視点に立って運営を進めています。</p>